

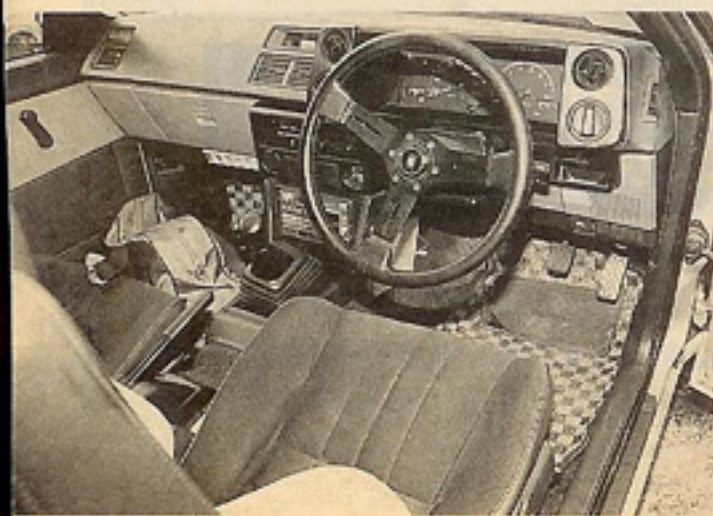


●足回り

ショック：ポテンザ コ
イルスプリング：ノーマ
ル ホイール：ボルクレ
ーシング370 6.5J-14
タイヤ：ポテンザRE
71 F185-60-14 R195
-60-14 ブレーキ：FET
オプションLSD

●室内

ステアリング：ナルディ36φ サベルト4×3シ
ートベルト



★ウェーバーキャブレターと304°/288°カムシャフトによるメカチューンならではのフィーリング★

インジェクション、およびターボチューンの多いAE86(4A-G)の中で、今回テストしたマシンはメカチューンだ。

ノーマルでもポテンシャルの高いエンジンをベースに、排気量アップおよび、ヘッド系、吸・排気系のチューンを行っている。一時の2T-Gメカチューンを彷彿させるユニットだ。

304°/288°カムシャフトのセッティングは、2T-Gによく見られた

が、4A-Gの場合、軽量コンパクトな作りによるフリクションロスの少なさからくるピックアップの向上にはすばらしいものがある。また、バルブスプリングも強化タイプに変更されており、高回転域の正確なバルブ動作を可能にしている。4500rpmからカムに乗るフィーリングが感じられ、その心地良いシンフォニーは8000rpmあたりまで続く。

このフィーリングは1.6ℓのままでも同じだが、排気量アップによるトルクの増大で、ハイカムシャフトに